

## 大瓜駐在所の交番整備に係る要望について

### <市長コメント>

大瓜駐在所の交番整備に係る要望についてお知らせします。

稲井地区の大瓜駐在所については、現在1名の駐在要員による配備体制となっているところですが、石巻警察署より、警察施設における安全性の確保等のため、1名での配備体制を見直す方針に伴い、令和5年度以降、大瓜駐在所を中里交番へ統廃合し、人員体制を見直す旨の報告がございました。

稲井地区においては、平成22年度には約3千人であった人口が、現在では約6千人へと大幅に増加しており、また、小・中学校、高等学校、大学などの教育施設や総合運動公園が位置しているほか、マルホンまきあーとテラスは令和3年4月の開館から約19万4千人の利用者が訪れているところでございます。

さらに、石巻北部バイパスや避難道路として整備された渡波・稲井トンネルの完成により、利便性が格段に向上し、地区内外の往来も激しいことから、交通安全や地域防犯対策の取組を求める地域の声が強くなっております。

そのような状況の中で、大瓜駐在所は地域の安全を担う極め

て重要な施設であり、当該施設の統廃合による住民の不安は日増しに増大しているとともに、統合先である中里交番とは旧北上川を隔て、有事の際の対応を危惧する声も上がっております。

以上のような事情であることから、本市としても駐在所への統廃合の中止及び警察人員の増員並びに交番整備について、石巻市議会と連名で宮城県警察本部に対し、要望書を提出いたしましたので、お知らせいたします。